

NY マーケットレポート (2017年4月5日)

NY 市場では、序盤に発表された ADP 雇用統計が、市場予想を大きく上回る結果となり、2014 年 12 月以来の高水準となったことを好感して、ドルは堅調な動きとなった。しかし、その後に発表された ISM 非製造業景況指数が昨年 10 月以来の低水準に低下するなど、サービス業関連の経済指標の悪化が続き、ドルは上値の重い動きとなった。

そして、FOMC 議事録では、バランスシートの縮小開始に関して議論されたことが明らかとなり、利上げのペースが弱まるとの見方が強まったことから、ドルは軟調な動きが続いた。また、一部当局者が、株価は非常に高いと判断していると指摘したことが明らかとなり、主要株価が大きく下落したことで、リスク回避の動きが強まり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。

2017年4月5日 (水)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	110.61	110.91	110.54
EUR/JPY	118.08	118.46	118.02
GBP/JPY	137.60	138.00	137.46
AUD/JPY	83.82	84.00	83.58
EUR/USD	1.0676	1.0689	1.0668

LONDON	高値	安値
USD/JPY	110.98	110.60
EUR/JPY	118.51	118.08
GBP/JPY	138.63	137.60
AUD/JPY	84.15	83.80
EUR/USD	1.0686	1.0662

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	110.66	111.45	110.57
EUR/JPY	118.09	118.79	118.04
GBP/JPY	138.23	139.04	138.13
AUD/JPY	83.75	84.41	83.69
NZD/JPY	77.09	77.52	77.05
EUR/USD	1.0672	1.0682	1.0636
AUD/USD	0.7568	0.7586	0.7560

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	20648.15	-41.09
S&P500	2352.95	-7.21
NASDAQ	5864.48	-34.13
日経225 (CME)	18795	-105
トロント総合	15642.99	-26.08
ボルサ指数	49207.61	-135.16
ボベスパ指数	64774.77	-994.15

4/6 経済指標スケジュール

08:50	【日本】3月対内外証券投資
09:30	【香港】3月購買部景気指数
10:45	【中国】3月財新メディア非製造業PMI
14:00	【日本】3月消費者態度指数
15:00	【ドイツ】2月製造業受注
16:15	【スイス】3月消費者物価指数
20:30	【欧州】欧州中銀、議事要旨公表[3月9日分]
20:30	【米国】3月チャレンジャー人員削減数
21:30	【米国】新規失業保険申請件数
21:30	【米国】失業保険継続受給者数
21:30	【カナダ】2月住宅建設許可

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1248.50	-9.90
NY 原油	51.15	+0.12
CME コーン	364.75	+1.75
CBOT 大豆	944.25	+6.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.226%	1.250%
3年債	1.432%	1.464%
5年債	1.847%	1.887%
7年債	2.135%	2.169%
10年債	2.332%	2.357%
30年債	2.981%	2.998%

ドイツ10年債	0.258%	0.257%
英国10年債	1.092%	1.067%

4/6 主要会議・講演・その他予定

・サンフランシスコ連銀総裁 講演

NY 市場レポート

21 : 15

◀ 経済指標の結果 ▶

3月米ADP雇用統計 26.3万人 (予想 18.5万人・前回 24.5万人)

前回発表の29.8万人から24.5万人に修正



出所：Bloomberg ※前回の修正値は未反映

指標結果データ

◀ADP雇用統計▶

3月・2月・1月・12月・11月・10月・9月

ADP雇用者数 (前月比) ・26.3・24.5・26.1・20.1・22.6・6.17・21.7 (万人)

3月の米ADP雇用統計では、民間部門雇用者数は+26.3万人となり、市場予想の+18.5万人を大幅に上回った。前月分が当初発表の+29.8万人から+24.5万人に大きく下方修正されたことから、3月の結果は2014年12月以来の高水準となった。製造業や建設業を含む財生産部門の雇用は+8.2万人 (前月は+10万人)。財生産部門のうち建設業は+4.9万人 (+5.9万人)、製造業は+3.0万人 (+3.3万人)、サービス業は+18.1万人 (+14.5万人)。

米ドル-円, 1分足, #100



出所：Net Dania

21 : 30

◀ 要人発言 ▶

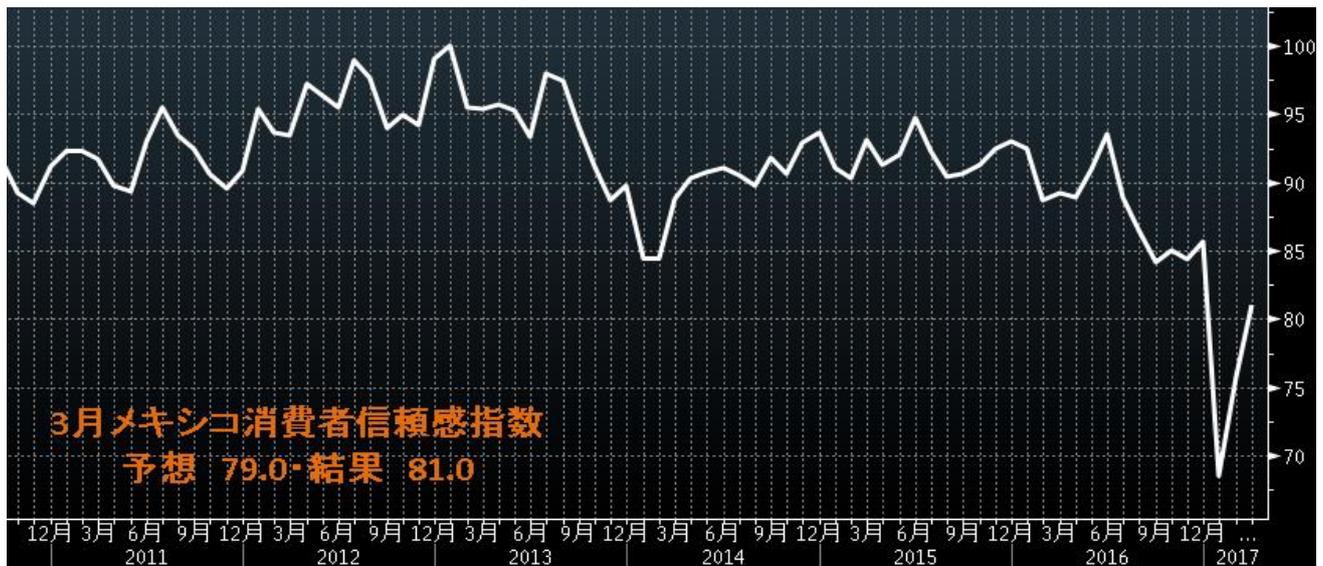
タルーロ FRB 理事

- ・「バランスシートについて考え始めた方が良い」
- ・「金利軌道の予測について、私は FOMC コンセンサスと一致している」
- ・「ADP 雇用者数の結果は 2Q 米 GDP の良い前兆だ」

22 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

3月メキシコ消費者信頼感指数 81.0 (予想 79.0・前回 75.7)

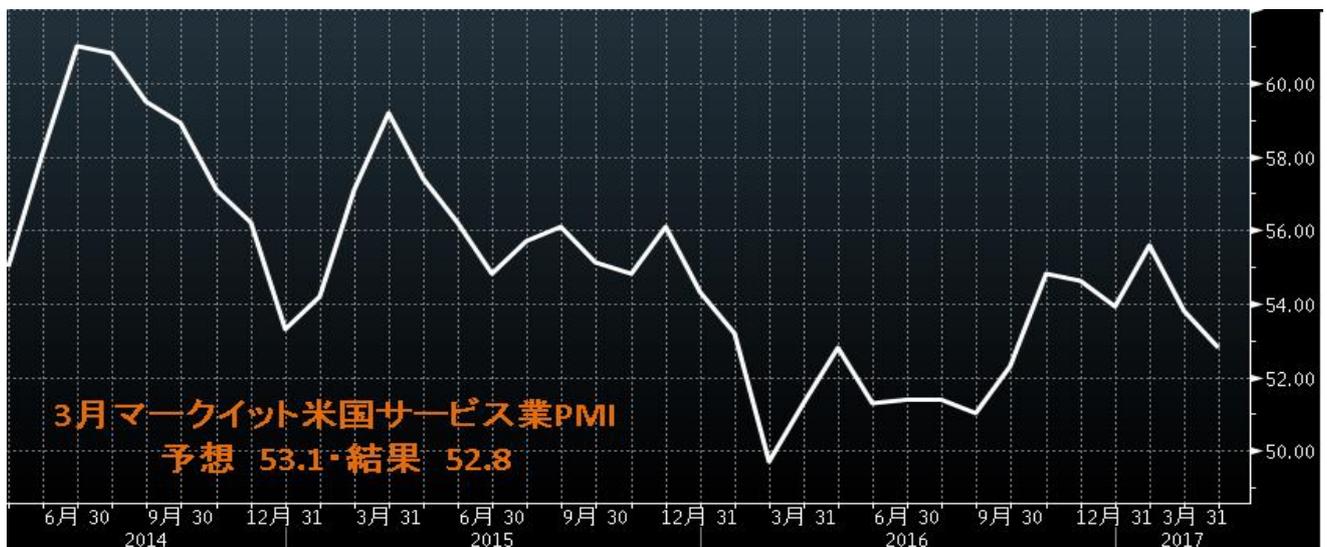


出所 : Bloomberg

22 : 45

◀ 経済指標の結果 ▶

3月マークイット米国サービス業PMI 52.8 (予想 53.1・前回 52.9)



出所 : Bloomberg

23:00

◀ 経済指標の結果 ▶

3月米ISM非製造業景況指数 55.2 (予想 57.0・前回 57.6)



出所: Bloomberg

経済指標データ

◀ ISM 非製造業景況指数 ▶

	3月	2月	1月	12月	11月	10月
総合指数	55.2	57.6	56.6	56.6	56.2	54.6
景況指数	58.9	63.6	60.3	60.9	60.3	58.1
仕入価格	53.5	57.7	59.0	56.1	55.6	55.8
新規受注	58.9	61.2	58.6	60.7	57.4	57.7
雇用者数	51.6	55.2	54.7	52.7	55.2	52.2

3月米ISM非製造業景況指数は、市場予想の57.0を下回る55.2となり、前回の2015年10月以来の高水準から一転し、昨年10月以来の低水準に低下した。関連指数では、景況指数が58.9(前回63.6)、仕入価格が53.5(57.7)、新規受注が58.9(61.2)、雇用が51.6(55.2)と軒並み低下となった。

23:30

◀ EIA 米週間在庫統計 ▶

- 原油在庫・・・157万バレル増加
- ガソリン在庫・・・61.8万バレル減少
- 留出油在庫・・・53.6万バレル減少
- クッシングの原油在庫・・・141.3万バレル増加



出所: Bloomberg

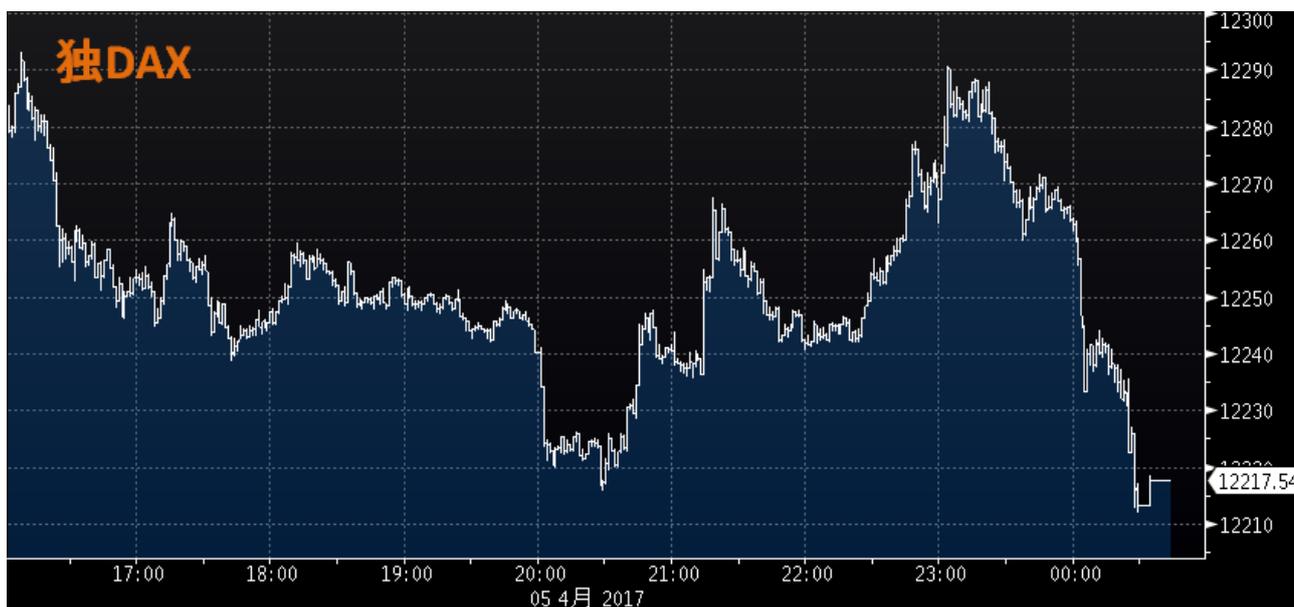
◀ NY 債券市場 ・ 午前 ▶

序盤のニューヨーク債券市場は、ADP 雇用統計で就業者数の増加幅が市場予想を大きく上回ったことから、投資家のリスク志向が強まり、安全資産とされる米国債が売られる一方、原油価格の上げ幅縮小をきっかけに買い戻しも入った。

午前の利回りは、30年債が3.00%（前日3.00%）、10年債が2.36%（2.36%）、7年債が2.17%（2.18%）、5年債が1.88%（1.89%）、3年債が1.47%（1.47%）、2年債が1.25%（1.26%）。

◀ 欧州株式市場 ▶

欧州株式市場はまちまちの結果となった。米中首脳会談などを控えて様子見ムードもあり、独 DAX 指数は軟調な動きとなった。また、英 FT100 指数は、原油価格の上昇を背景に資源株が買われたこともあり小幅高となった。



出所：Bloomberg

3 : 00

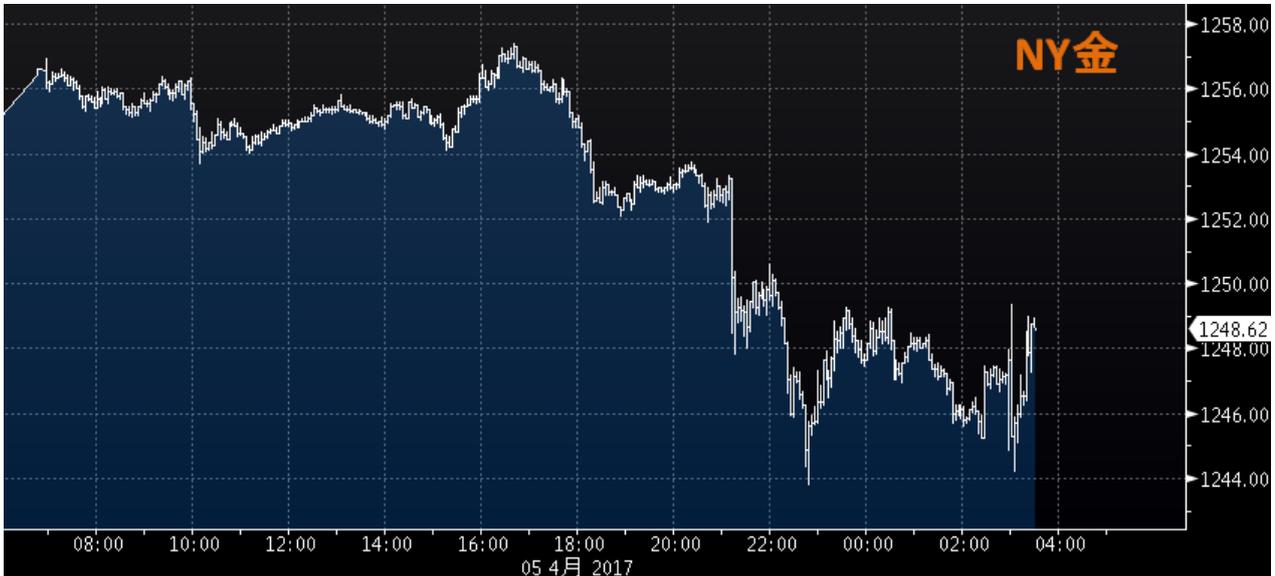
◀ FOMC 議事録 ▶

- ・「再投資政策の変更は年内に正当化されるとメンバーの大半が判断している」
- ・「再投資政策は、米国債と MBS の両方で変更すべきだ」
- ・「一部当局者は株価が非常に高いと判断している」
- ・「今後の会合で再投資政策の協議を継続する」
- ・「漸進的な利上げが適切と判断している」
- ・「財政政策は景気上振れリスクと大半の当局者が判断している」

◀ NY 金市場 ▶

NY 金は、中心限月が前日比 9.90 ドル安の 1 オンス=1248.50 ドルで取引を終了した。

NY 金は、米雇用関連の民間統計が好調だったことからドルが主要通貨に対して上昇し、ドルの代替資産とされる金の売りが広がった。ただ、米中首脳会談を控えて様子見ムードも強く、引けにかけて相場は下げ渋った。

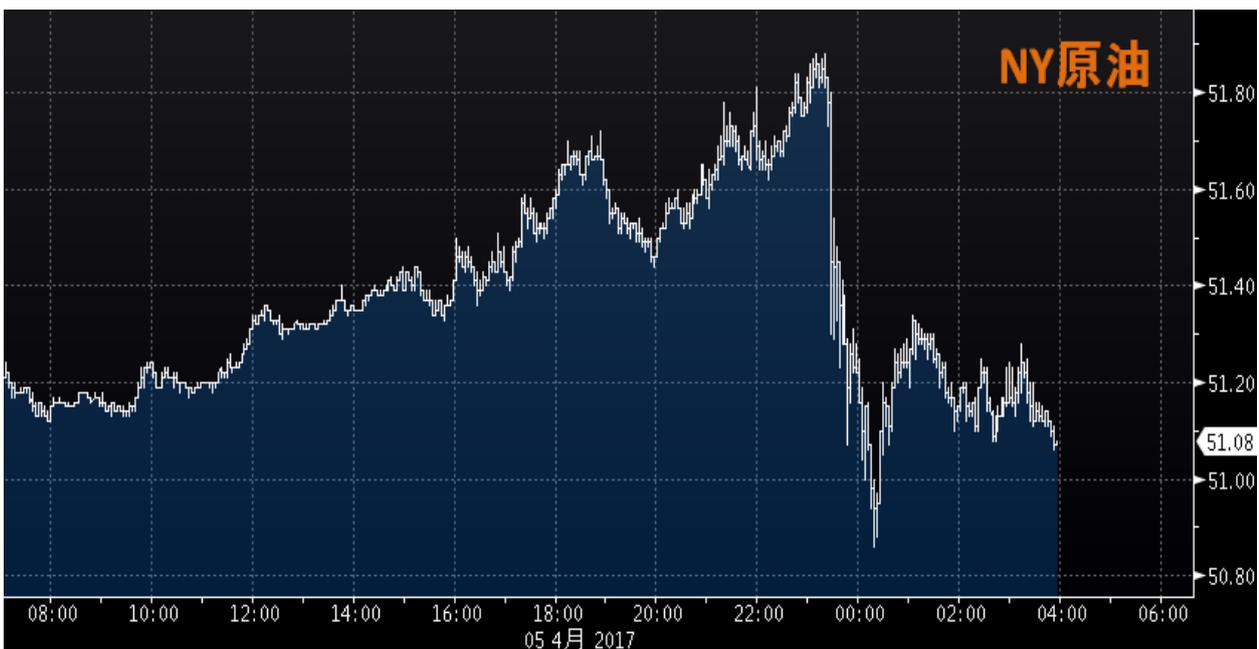


出所：Bloomberg

◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前日比 0.12 ドル高の 1 バレル=51.15 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、序盤は堅調な動きが続いていたが、米石油在庫統計で原油在庫が市場予想に反して増加したことを受けて、大きく下落する動きとなった。終値ベースでは、3月上旬以来約 1 ヶ月ぶりの高値水準となった。



出所：Bloomberg

《米株式市場》

米株式市場は、原油価格の上昇を受けて石油株が買われたほか、金融株にも買いが集まったことが影響し、主要株価は堅調な動きとなった。しかし、在庫増加が影響して原油価格が下落したことや、FOMC 議事録で一部メンバーから株価が割高との指摘があったことが明らかとなり、主要株価はマイナス圏まで下落した。

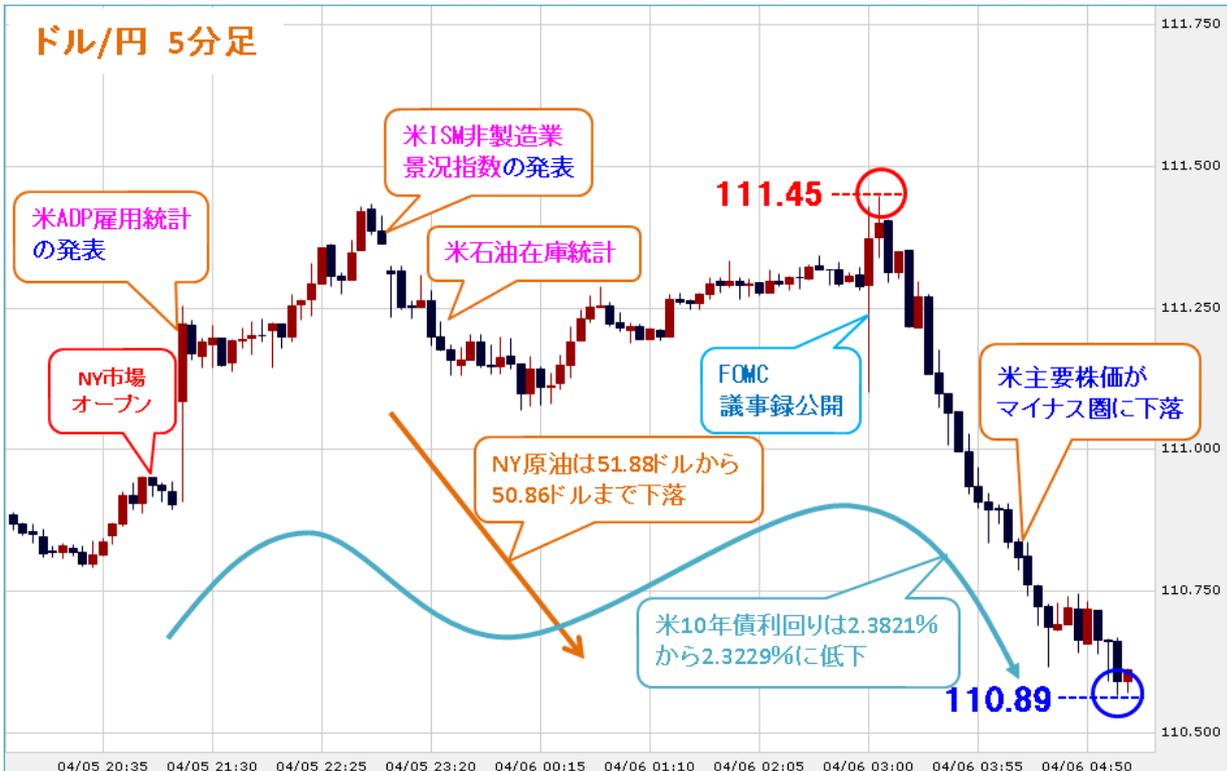


出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、序盤の ADP 雇用統計が予想に反して増加となったことを受けてドル買いとなった。しかし、その後に発表されたサービス関連の指標がいずれも予想を下回る結果となったことを受けて、ドルは下落に転じた。

そして、FOMC 議事録を受けて、株価がマイナス圏まで下落したことから、ドル円・クロス円は終盤まで軟調な動きが続いた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。